

今号の主な内容	
2面	27年度に取り組む主な事業
3面	区民意識調査の結果
5面	建物からの落下物・飛散物による事故防止のために定期的な自主点検を
7面	3月は自殺対策強化月間
8面	首都直下地震に備えて 自助・共助で地域防災力の向上を



しんじゅくコール

☎03(3209)9999 FAX03(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎03(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

平成27年度 区政の基本方針を表明

次の世代が夢と希望を持って 心豊かに生活できる 新しい新宿のまちを目指して



所信を表明する吉住区長(2月20日)

平成27年第1回区議会定例会は2月20日に開会し、平成27年度当初予算案などの各種議案を審議しています。開会に当たり吉住健一区長は、区政の基本方針と主要施策について所信を表明しました。今回は、その概要をお知らせします。要旨は、新宿区ホームページをご覧ください。

【問合せ】企画政策課(本庁舎3階)☎(5273)3502・FAX(5272)5500へ。

区政に対する基本姿勢

我が国の景気動向を見ると、平成26年10月～12月期の実質GDP成長率は、消費税増税後初めてプラス成長となりましたが、消費税率引き上げに伴う消費の駆け込み需要の反動減や、実質賃金の低下、輸入価格の高騰などから、個人消費の回復はなかなか進んでいません。

一方、内閣府の発表では、緊急経済対策が着実に実施されることで、4月以降の賃上げへの道筋が明確にされ、景気の回復が期待されるとしています。

区政を取り巻く社会経済情勢は不透明であり、景気の先行きについても、慎重に見極めていくことが必要です。

私は、区民の皆さまに最も身近な基礎自治体の長として、「現場・現実を重視した柔軟かつ総合性の高い区政」を将来を見据えた政策の優先順位を明確にした区政の2点を基本に、区政の課題に積極的に取り組み、持続的に発展し続ける新しい新宿のまちを全力で創造してまいります。

平成27年度の

区政運営の基本認識

暮らしやすさ1番の新宿

区民が心豊かに暮らし、一人一人が尊重され、自分らしく生きることができる地域社会を目指します。

このため高齢者施策では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの実現をはじめ、在宅介護サービスの充実、特別養護老人ホームの整備、認知症対策の充実等に取り組めます。

子育て支援としては、待機児童の解消や多様な保育サービスの充実とともに、在宅子育て家庭への支援を推進するほか、幼児教育の無償化への取り組みや、子どもが安心して

る居場所づくりを進めます。さらに、子育てと仕事の両立等を通じて、女性や若者が活躍できる地域づくりを進めます。

学校教育の充実としては、新地方教育行政制度の下、子どもたちの豊かな心と健やかな体づくりを推進するとともに、いじめや不登校の防止、特別支援教育の推進など、子ども一人一人にきめ細かく丁寧に向き合います。

障害者施策については、日常生活の支援、地域で生活するための基盤整備、多様な就労ニーズに対する支援など、障害者が生き生きと暮らし続けられる環境を整備します。

新宿の高度防災都市化と 安全安心の強化

首都直下地震発生の切迫性が高まる中、災害に強い高度防災都市づくりが喫緊の課題です。

そのため、木造住宅密集地域の解消や、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化、分譲マンションの耐震化等、災害に強いまちづくりにスピード感を持って取り組みます。

また、災害時要援護者名簿への登録勧奨や、家具転倒防止対策の支援強化、女性の視点を取り入れ災害時要援護者にも配慮した避難所運営体制を確立します。

このほか、地域の防犯対策や空き家の適正管理、客引き行為の防止、



初期消火用スタンドパイプを防災区民組織等に配備 (写真/スタンドパイプを使った地域防災訓練)

危険ドラッグ対策等、暮らしやすい安全で安心なまちづくりに取り組めます。

賑わい都市・新宿の創造

商業・文化・居住等の都市機能や都市環境を生かし、持続的に発展する新宿の未来を創るため、「まちづくり長期計画」を策定します。

新宿のイメージを代表する新宿駅周辺の利便性・回遊性を高めるため、東西自由通路や駅前広場の整備を進めるとともに、中井駅周辺では、南北自由通路と駅前広場、防災コミュニティ施設等の整備により、良質な歩行空間を創出します。

また、景観まちづくりによる快適な都市空間づくり、放置自転車対策や受動喫煙防止対策、街路灯のLED化など、気持ちよく楽しめ、環境にやさしいまちづくりを進めます。

次に、文化・芸術のまちづくりに向けて、「仮称」漱石山房記念館の整備や、新宿クリエイターズ・フェスタ等の拡充とともに、新宿観光振興協会を中心とした、さらなる賑わいづくりに取り組みます。

また、商店街の活性化に向けて、イベントや施設整備への支援、空き店舗の有効活用や、商店街灯のLED化等を推進します。

このほか、東京オリンピック・パラリンピック開催の好機を捉え、文化・観光、都市基盤整備、ユニバーサルデザイン等の施策を総合的に推進し、国際観光都市・新宿のブランド力を向上します。

健全な区財政の確立

健全な区財政を維持し、安定した行政サービスを提供するため、中期財政見直しを作成し、決算実績や行政評価を踏まえ、事業見直しの徹底と施策の重点化を図ります。

また、新公会計システムの活用により職員のコスト意識を高め、区政運営のマネジメントを強化するとともに、区有施設のあり方や役割を見直し、効果的・効率的な公共施設マネジメントに取り組めます。



6月に下落合駅前にオープンする特別養護老人ホーム(仮称)もみの樹園(完成予想図)

好感度1番の区役所

窓口の好感度を高めることは、区民視点で事務事業や組織体制等を改善していく出発点です。

区民の立場で考え、正確かつ丁寧な対応で区民の信頼に応えるとともに、ソーシャルメディア等の多様な手段により、区民との情報の共有を図ります。

また、現場・現実に向き合い、町会・自治会、NPOをはじめ区民との連携・協働による地域課題の解決に取り組めます。

持続的に発展し続ける

新しい新宿のまちを

目指して

私は、区民に最も身近な基礎自治体の長として、現場・現実に向き合い、区民との信頼関係を築きながら、将来を見据え、区政課題に積極的に取り組んでまいります。

次の世代が夢と希望を持って心豊かに生活できる、持続的に発展し続ける新しい新宿のまちを目指し、「新宿力で創造するやすらぎとにぎわいのまち」の実現に向けて、全力で取り組めます。

平成27年度に取り組む主な事業を、2面に掲載しています。